

# 2023 ズバリ! 的中



# 世界史

## 同志社大学

第二次世界大戦後の中国史に関する空欄補充がズバリ的中!

### 入試問題

2月7日実施 学部個別日程  
〔Ⅲ〕 設問1、設問2、設問7

### 河合塾

大学受験科 完成シリーズ  
世界史 演習  
第24講 1【1】、【2】

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問1～9に答えなさい。(50点)

1945年9月2日に日本が連合国に降伏した後、毛沢東率いる中国共産党と ( a ) 率いる中国国民党の間で衝突が再燃した(国共内戦)。この内戦を有利に進めた中国共産党は、民主諸党派を取り込んだうえで、北京で人民政治協商会議を開き、1949年10月に主席を毛沢東、首相を ( b ) とする中華人民共和国(以下、人民共和国)が成立した。

一方、中国国民党は日本敗戦直後から台湾統治に着手し、台北に中華民国政府を移転する。しかし、この過程で中国国民党に対する台湾住民の不満が高まり、1947年に ( c ) とよばれる大規模な暴動が発生する。中国国民党はこれを武力で鎮圧すると同時に、戒厳令をしいて統制を強化した。

人民共和国成立初期の政治に影響を与えたのは、朝鮮半島の政治情勢である。日本の植民地支配の後、朝鮮半島はソ連とアメリカに分割占領された。そして、1948年に北側に ( d ) を首相とする朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)が、南側には ( e ) を大統領とする大韓民国(韓国)がそれぞれ成立した。そして、1950年6月に北朝鮮の軍事侵襲をきっかけに朝鮮戦争が勃発した。開戦直後にアメリカ主体の国連軍が参戦して中朝国境にせまると、毛沢東も義勇軍(志願軍)を朝鮮半島に派遣した。1953年に休戦協定が成立したものの、この戦争によって人民共和国とアメリカとの対立が決定的になると同時に、人民共和国が冷戦構造に組み込まれる結果となった。

こうした情勢下で、人民共和国はソ連や周辺諸国との関係を重視した。1950年2月には中ソ友好同盟相互援助協約を締結し、ソ連の援助のもとで1953年から ( f ) にもとづく経済建設が始まった。また、1954年に ( h ) がインドの首相ネルーと会談して ( g ) を取りまとめるなど、人民共和国の首脳部は冷戦対立とは異なる第三勢力との関係構築を模索した。しかし、ソ連共産党の指導者であった ( h ) が1953年に死去した後、同党第一書記の ( i ) が1956年に ( h ) 批判を行うと、毛沢東は西側諸国との平和共存路線に転換したソ連に反発し、両国の関係は悪化していった。

こうしたなかで、毛沢東はソ連とは異なる社会主義を実現しようと1958年に

### 第24講 現代の世界(3)

<Step 1>

① 東アジア

【1】 中国

中国(中華民国)は第二次世界大戦中の1943年に不平等条約の廃棄に成功し、戦後は米・英・仏・ソとともに国連( 1 ) 理事会の常任理事国の一つとなって国際的地位を高めた。しかし、国内では国民党と共産党の対立の激化から国共内戦に突入した。国民党は共産党の根拠地である陝西省の( 2 ) を占領したが、政治の腐敗・汚職がはなはだしく、経済状況も悪化し、民衆の支持を失った。これに対し共産党は解放区を中心に土地改革を行って民心を獲得し、反撃に転じて中国本土を支配下に取めた。このため国民党は( 3 ) に逃れ、中華民国政府を維持した。

共産党は1949年9月、北京で開催した人民政治協商会議に民主勢力を招集し、10月1日、北京で中華人民共和国の成立を宣言し、( 4 ) が主席、( 5 ) が首相に就任した。新政府は、建国翌年に、モスクワで( 6 ) 条約に調印し、社会主義陣営に加わることを明らかにし( 4 ) の新民主主義論にもとづいて地主制度を根絶した。そして( 1953年から

第1次五カ年計画を実施)、農業の集団化とソ連の援助を得て工業化が推進された。1958年からは第2次五カ年計画が実施され、「大躍進」を掲げて農村に( 7 ) を設立し、農業の集団化を進めた。しかし、その急速な変革は欠陥を露呈し、多くの餓死者を出して大失敗に終わった。そこで、1959年に( 4 ) に代わって国家主席となった( 8 ) を中心に現実路線(調整政策)がとられ、集団化の縮小や統制の緩和によって農民・労働者の生産意欲を高め、経済・社会の安定に成功した。しかし、1960年代に入ると中印国境紛争・中ソ紛争などによる国際緊張が高まった。こうしたなかで1966年に本格化した( 9 ) は、( 4 ) ・林彪らが( 10 ) 兵を大動員して現実路線に攻撃を加えたもので、( 8 ) ・( 11 ) らの実権派(走資派)が追放された。この( 9 ) により中国は混乱に陥ったが、1971年の国連代表権の獲得や、外国の資本・技術の導入を推進する政策の採用、1972年のアメリカ合衆国の( 12 ) 大統領の訪中や日中国交正常化の実現など、国際社会への復帰と経済再建が進んだ。しかし、1976年に( 5 ) 首相と( 4 ) が相ついで死去すると、

後任の華国鋒首相は( 9 ) を支持する四人組を逮捕し、( 5 ) が提案した農業・工業・国防・科学技術の「( 13 )」を推進し、( 9 ) の犠牲者の名誉回復を行った。その後、( 11 ) が復活して中国政治の実権を握ると、華国鋒が失脚し、胡耀邦総書記・趙紫陽首相のもとで改革・開放政策が進められた。この間に( 7 ) の解体や外資の導入などを実施したが、1987年初めには、民主化要求をめぐる暴乱の責任を負って胡耀邦が辞任し、さらに1989年、胡耀邦の死によって高まった民主化闘争は、6月4日、( 14 ) 広場で人民解放軍により鎮圧され、これにより趙紫陽総書記は失脚し、同年に江沢民が総書記に就任した。その後、国家主席に就任した江沢民は、1997年7月には( 15 ) 返還を実現させた。また、

( j ) を実施し、農村における ( k ) の設置に踏み切った。しかし、専門技術の軽視や自然災害の発生により、大量の餓死者を出して失敗に終わった。1959年に毛沢東にかわって、新たに国家主席となった ( A ) は、毛沢東がとった急進的な社会主義推進政策を緩和し、数年にわたって社会の安定に努めた。

しかし、毛沢東はこうした穏健政策に疑念を深め、1966年に青年や学生を中心とする ( l ) を動員し、プロレタリア文化大革命(文革)を開始する。党内の多数の有力幹部や政治家は資本主義復活を試みる「走資派」もしくは「 B 」として弾圧され、多くの命が奪われた。この混乱により、人民共  
和国の政治・社会・外交は以後約10年にわたって停滞を余儀なくされた。

このうち1976年に ( b ) と毛沢東が相次いで亡くなると、党の中核で文革を支持していた毛沢東夫人の ( C ) から四人組が逮捕され、文革は終息していく。そして毛沢東の後任として党主席となった ( m ) が「四つの現代化」を再提起した後、文革から復権して実権を握った ( D ) が経済の開放や自由化、いわゆる改革開放政策に着手する。然るに1980年代は各種の経済政策が打ち出されたものの、政治改革はほとんど進まず、経済格差の拡大、インフレ、そして官僚の腐敗などへの不満から民主化を求める世論が高まった。こうしたなかで、胡耀邦前総書記の追悼集会のために北京の天安門(前)広場に集まった学生や労働者などは政治の民主化を求めた。しかし、この民主化運動は1989年6月4日に戒厳部隊によって弾圧され、多数の死傷者を出した。これを(第二次)天安門事件という。

**設問1** 空欄 ( a ) ~ ( m ) に最も適切な語句を以下の語群から選択し、その番号を解答欄Ⅲ-Aに記入しなさい。

**【語群】**

- |                |                   |            |
|----------------|-------------------|------------|
| 1. エリツイン       | 2. 開発独裁           | 3. 華国鋒     |
| 4. 企業連合(カルテル)  | 5. 九・三〇事件         | 6. 郷勇      |
| 7. 金玉均         | 8. 金正日            | 9. 金日成     |
| 10. 金大中        | 11. 金本位制          | 12. 経済ブロック |
| 13. 紅衛兵        | 14. 洪秀全           | 15. 農民化政策  |
| 16. 康有为        | 17. 五・三〇運動        | 18. 周恩来    |
| 19. 14か条の平和原則  | 20. 蒋介石           | 21. 徐光啓    |
| 22. 親衛隊(SS)    | 23. 新経済政策(ネップ)    | 24. 人民公社   |
| 25. スターリン      | 26. 全国産業復興法(NIRA) | 27. 孫権     |
| 28. 第一次五か年計画   | 29. 大躍進政策(運動)     | 30. 段祺瑞    |
| 31. チャウシェク     | 32. 趙紫陽           | 33. 徴税請負制  |
| 34. 陳独秀        | 35. 鉄騎隊           | 36. 鉄血政策   |
| 37. ドイモイ(刷新)政策 | 38. ドブチェク         | 39. トロツキー  |
| 40. 二・二八事件     | 41. 二・二六事件        | 42. フルシチョフ |
| 43. プレジネフ      | 44. 平和五原則         | 45. 平和十原則  |
| 46. 平和に関する布告   | 47. 李淵            | 48. 李鴻章    |
| 49. 李自成        | 50. 李承晩           | 51. 李世民    |
| 52. 梁啓超        |                   |            |

**設問2** 空欄Aに当てはまる人名を解答欄Ⅲ-Cに漢字3文字で記入しなさい。

**設問7** 空欄Dに当てはまる人名を解答欄Ⅲ-Cに漢字3文字で記入しなさい。

1999年12月にはアジアに残された唯一の植民地といわれた ( 16 ) がポルトガルから中国に返還された。( 15 )・( 16 ) では、返還後50年間は資本主義体制を維持する一國二制度が約束された。2002年には江沢民に代わって胡錦濤が国家主席に就任。2013年には習近平が国家主席となった。

一方、( 3 ) (中興民国)では壽経国統継のもとで副總統をつとめた ( 17 ) が1988年に本省人(第二次世界大戦終結前の ( 3 ) 移住者とその子孫)として初めて總統に就任し、政治の民主化・経済の自由化を進め、1996年には自由選挙で總統に選出された。( 17 ) や、2000年に野党の民進党でありながら總統に選出された ( 18 ) は、( 3 ) の独立承認をめぐしたため、中華人民共和国との関係が悪化した。2008年に国民党の馬英九が總統に就任すると、中華人民共和国との関係は改善されることになったが、人々の不満は高まり、2016年の總統選挙では、再び民進党が勝利し、蔡英文が初の女性總統に選ばれた。

## 【2】朝鮮

日本の敗戦後、朝鮮では建国準備委員会を中心に独立政府樹立の準備が進められていたが、北緯 ( 1 ) 度線を軍事境界線として北部にソ連軍が、南部にアメリカ軍が進駐して、南北の対立が深まった。1948年8月、南部に ( 2 ) を大統領とする大韓民国が成立し、9月、北部に ( 3 ) を首相(のちに主席)とする朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)が成立した。( 4 ) 年6月、北緯 ( 1 ) 度線を越えて北朝鮮の軍隊が南へ侵入し、朝鮮戦争が起こった。アメリカ合衆国の要請で国連安全保障理事会は、中国代表権問題でソ連代表が欠席のまま、北朝鮮を侵略国と非難し、国連軍の派遣を決議した。8月末、北朝鮮の軍隊が南部のほぼ全域をおさえると、アメリカ軍を中心とする国連軍が大韓民国を支援して、遂に北朝鮮の軍隊を押し返し、中国国境にまで退治した。これに対して中国(中華人民共和国)は北朝鮮に人民義勇軍を派遣した。1951年、ソ連の提案にアメリカが応じて休戦会議が始まり、その後は北緯 ( 1 ) 度線付近の ( 5 ) で休戦会議が続けられ、1953年に休戦協定が締結された。

朝鮮戦争後、朝鮮半島は北緯 ( 1 ) 度線付近の軍事境界線により南北分断が固定化された。大韓民国では、反共体制をかためた ( 2 ) 大統領の独裁政治が続いたが、1960年にソウルの学生・市民たちの反政府デモで倒された。しかし、翌1961年に軍事クーデタが起こり、やがて ( 6 ) が大統領に就任した。アジアやラテンアメリカの国々では1960年代半ば以降に、( 7 ) と呼ばれる、経済開発を効率よく進めることを理由に正当化がはかられた独裁政治体制が成立した。( 6 ) 政権はその典型であった。1965年に ( 6 ) 政権は日本と ( 8 ) 条約を結び、国交を樹立した。1979年に長い間強大な権力を握ってきた ( 6 ) 大統領が暗殺されたのち、軍人の全斗煥が実権を掌握すると、民主化を要求する運動が起こった。全斗煥はこれを弾圧した(光州事件)のち大統領に就任したが、その独裁